

# 【レッツチャレンジ N I E 中学生】記事を読んで考えるワークシート

記事を読んで下の問いに答えましょう。



船から陸揚げされた  
3両編成の新造車両。  
左端は中間車＝9日午後2  
時59分（ジャン松元撮影）

## 3両化へ

沖繩都市モノレール（ ）の3両化に向けた新車両が9日、那覇港に到着した。利用者の増加に伴う混雑解消のため、2019年度に3両化が計画されてから3年。今月中には試運転が始まり、23年度中に運行が開始される。さらなる利便性向上には他の公共交通とのスムーズな乗り換えなど課題もある。（1面に関連）

は都心部の利用者、コロナ前の慢性的な交通渋滞解消などを目的に03年、那覇空港駅―首里駅で開通。19年には浦添市のてだこ浦西駅まで区間を延長した。開通初年度の03年度は749万7788人だった。19年度には約500万人だった入域観光

# コロナ後見据え体制強化

## 30年予測 1日7.2万人

客が19年には1千万人を突破するなど、観光客の増加も大きい。特に朝夕の通勤・通学時の混雑はひどく、モノ社によるとピーク時の18年11月には平日午前8時で乗車率156%を記録。駅で乗車待ちの客を乗せられない「乗り越し」もたびたび発生する事態となるなど、混雑の解消が喫緊の課題となっていた。

モノ社は運行間隔を短縮するなどして対策をとってきたが、抜本的な解決には3両化で輸送人員を増やすことが必要とされ、19年度から計画が動き出した。

新型コロナウイルスの影響で20、21年度の利用者は減少したものの、モノ社、県都市計画・モノレール課ともに「コロナ後を見据え、輸送人員は増やす必要がある」とする。

観光客の回復、増加や沖繩自動車道とつながる幸地インターチェンジの整備など沿線の開発で、県は30年の需要予測を1日当たり7万2千人と見込む。

今後課題となるのは、中北部との連結点となるてだこ浦西駅への路線バスの乗り入れやパーク＆ライド駐車場の利用促進だ。県は「公共施設としての投資効果を発揮しなければいけない」としている。（玉城江梨子）

琉球新報 2023年1月10日付5面

【1】 に入る沖繩都市モノレールの通称は何でしょう。

ゆいレール

【2】 現在開通している区間はどこからどこまででしょう。

（ 那覇空港 ）駅⇄（ てだこ浦西 ）駅

【3】 利用者増加の要因を2点書き出してみましょう。

- ・ 県民の足として定着したこと
- ・ 観光客が増加したこと

【4】 これまでピーク時はどのような状況になっていましたか。

駅で乗車待ちの客を乗せられない「乗り越し」が発生することがあった。

### 発展問題

記者が今後の課題を挙げています。これらの課題が解決されると、沖繩県にとってどのような効果が期待できるでしょうか。※一人で考えるのが難しいときは、家族や友人と話し合ってみましょう。

北部にテーマパークができることが発表されました。世界自然遺産登録に続く、大きなニュースでした。環境を守りながら観光客の足を確保するには、どのようなことが必要になってくるか、また、沖繩がどんな県になってほしいか発展問題で考えてみましょう。コロナ後を見据え、準備しておくことも大切です。（國吉美穂 N I Eアドバイザー、興南中・高教諭）